

第6回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成10年2月12日（木）
 13：30～14：45
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) ADEOS-II相乗り小型衛星の公募選定結果について
 (3) 技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）の運用状況について
 (4) 通信放送技術衛星（COMETS）のミッションの概要に
 ついて
 (5) その他
4. 資 料 委6-1 第5回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委6-2 ADEOS-II相乗り小型衛星の選定について
 委6-3 技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）の運用状況に
 ついて
 委6-4 通信放送技術衛星（COMETS）のミッションの
 概要について
 委6-5 「スペースシャトルおよびミール利用宇宙実験の実
 験結果報告会」の開催について

委 6 - 1

第5回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨（案）

1. 日時 平成10年2月4日（水）
 14:00～15:15
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 宇宙基地協力協定の署名について
 (3) 宇宙基地多数者間計画調整委員会（MPCC）開催結果について
 (4) 通信放送技術衛星（COMETS）／H-IIロケット5号機
 打上げ及び追跡管制計画書の変更等について
 (5) 熱帯降雨観測衛星（TRMM）降雨レーダ初期機能確認試験
 結果について
 (6) 国際宇宙ステーション搭乗宇宙飛行士候補者の募集・選抜に
 ついて
 (7) その他
4. 資料 委5-1-1 第3回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 委5-1-2 第4回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委5-2 民生用国際宇宙基地のための協力に関するカナダ政府、
 欧州宇宙機関の加盟国政府、日本国政府、ロシア連邦
 政府及びアメリカ合衆国政府の間の協定について
 委5-3 多数者間計画調整委員会（MPCC）開催結果につ
 いて
 委5-4 通信放送技術衛星／H-IIロケット5号機打上げ及び
 追跡管制計画書の変更等について
 委5-5 熱帯降雨観測衛星（TRMM）降雨レーダ初期機能確
 認試験結果について
 委5-6 国際宇宙ステーション搭乗宇宙飛行士候補者の募集・

選抜について

委5-7 STS-89による宇宙放射線環境計測計画の実験運用結果について（資料配付）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

山 口 開 生

宇宙開発委員会委員

長 柄 喜一郎

//

末 松 安 晴

//

秋 葉 鐔二郎

関係省庁

外務省軍備管理・科学審議官

阿 部 信 泰（代理）

通商産業省機械情報産業局次長

河 野 博 文（//）

郵政大臣官房技術総括審議官

甕 昭 男（//）

事務局

科学技術庁研究開発局長

青 江 茂

科学技術庁長官官房審議官

大 熊 健 司

科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

千 葉 貢 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第3回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委5-1-1）の修正点が説明された。また、第4回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）（資料委5-1-2）が確認された。

(2) 宇宙基地協力協定の署名について

外務省国際科学協力室 水谷室長より、資料委5-2に基づき、平成10年1月29日に米国ワシントンにおいて日、米、欧、加及びロシアにより署名が行われた「民生用国際宇宙基地のための協力に関するカナダ政府、欧州宇宙機関の加盟国政府、日本国政府、ロシア連邦政府及びアメリカ合衆国政府間の協定」（宇宙基地協力協定、IGA）の概要について説明があった。

これに関し、委員より、署名後、本協定はどのような取扱いになるのか、また、事務局より、本協定の実施に伴い新たな財政措置は必要でないとはどのような意味か等の質問があった。

これに対し、外務省より、今後は国会承認を受けて、日本政府として本協定を批准することになるが、そのために必要な作業を科学技術庁と協力して行う予定であること、財政措置は必要でないとは、本協定の実施に当たり、毎年度の通常の予算措置以外に新たな財政の枠組みを設ける必要はないという意味であること等の回答があった。

(3) 宇宙基地多数者間計画調整委員会 (M P C C) 開催結果について

科学技術庁研究開発局宇宙利用課 藤田課長、宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部 斎藤副本部長より、資料委5-3に基づき、平成10年1月28日に米国NASA本部にて行われた多数者間計画調整委員会 (M P C C) の結果について説明があった。

これに関し、委員より、ESAの軌道間輸送機 (A T V) とRSAのプログレスの役割分担とはなにか、運用段階においては国際宇宙ステーション計画の調整はどこが行うのか等の質問があった。

これに対し、科学技術庁及び宇宙開発事業団より、A T Vとプログレスは宇宙ステーションの同じ場所にドッキングし、同じリブースト機能を担当することから、その順番や回収方法について協議すると考えられること、運用段階においては多数者間調整委員会 (M C B) やその下部機関であるシステム運用パネル (S O P) において調整を行うこと等の回答があった。

(4) 通信放送技術衛星 (C O M E T S) / H-Ⅱロケット5号機打上げ及び追跡管制計画書の変更等について

宇宙開発事業団軌道上技術開発システム本部衛星ミッション推進部 三戸部長より、資料委5-4に基づき、通信放送技術衛星 (C O M E T S) の打上げ延期の原因であったアンテナ駆動制御装置の点検・修理及び確認試験が終了し、打上げ日を2月20日とすること、これに伴い、「通信放送技術衛星/H-Ⅱロケット5号機打上げ及び追跡管制計画書」の打上げ予備期間を変更することについて説明があった。

これに関し、委員より、変更後の打上げ予備期間の最終日が2月28日から27日へ1日短くなった理由について質問があった。

これに対し、宇宙開発事業団より、2月28日に打上げを実施する場合、C O M E T Sと地球と月の位置関係でアポジ噴射前の姿勢制御系の校正回数が減少するため、軌道投入に生ずるリスクが大きく、そのリスクと今期打上げできない場合のリスクとを更に慎重に検討した結果、打上げの万全を期す

るため予備期間を27日までに変更した旨の回答があった。その後、打上げ計画の変更が了承された。

また、宇宙開発事業団より、技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）は、NASAデータ中継衛星（TDRS）と衛星間通信機能試験を行った際にハイゲインアンテナからの送信パワーが規定値より低くなる現象が生じており、現在、原因について調査中であるとの報告があった。

- (5) 熱帯降雨観測衛星（TRMM）降雨レーダ初期機能確認試験結果について
宇宙開発事業団地球観測システム本部 佐木TRMMプロジェクトマネージャ、通信総合研究所標準計測部 岡本部長より、資料委5-5に基づき、熱帯降雨観測衛星（TRMM）が搭載している宇宙開発事業団の降雨レーダ（PR）の初期機能確認試験結果について説明があった。

これに関し、委員より、PRの観測データから雪と雨との違いや雨の降り方は分かるのか等の質問があった。

これに対し、宇宙開発事業団より、PRは氷や雪が融けて雨になる融解層の観測ができるので、ここから雪か雨かを判断できること、観測は秒単位で実施するので、降雨量と時間から降り方が分かること等の回答があった。

- (6) 国際宇宙ステーション搭乗宇宙飛行士候補者の募集・選抜について

宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部 斎藤副本部長及び宇宙環境利用推進部有人宇宙活動推進室 毛利室長より、資料委5-6に基づき、国際宇宙ステーション搭乗宇宙飛行士候補者の募集・選抜の概要について説明があった。

これに関し、委員より、なぜ募集対象者を自然科学系に限っているのか等について質問があった。

これに対し、宇宙開発事業団より、将来は様々な分野の人材が対象となるだろうが、現段階では国際的合意及びミッションの関係から最低限自然科学の素養が求められている、ただし、今回は自然科学以外の素養があることも重要視したいこと、これまでの宇宙飛行士は主に宇宙実験を任務としていたが、今後は、宇宙ステーションに長期間滞在することもあり、もっと幅広い目的意識を持ち、宇宙に行って何をしたいか自信を持って答えることのできる人を希望したいこと等の回答があった。

- (7) その他

事務局より、資料委５－７に基づき、平成１０年１月２３日（日本時間）に打ち上げたＳＴＳ－８９による宇宙放射線環境計測計画の実験運用結果について説明があった。

以上